

教 育 委 員 会 資 料
令 和 7 年 6 月 2 6 日
生 涯 学 習 課

令和6年度生涯学習課が所管する施設の指定管理業務事業報告について

令和6年3月7日開催第5回教育委員会において承認を得た「令和6年度の生涯学習課が所管する施設の指定管理業務」について、下記により令和6年度の事業の実施状況について報告する。

記

- | | | |
|---|----------------------------------|---------------|
| 1 | 八ヶ岳荘指定管理業務にかかる事業報告の概要 | 【資料1】・・・P. 2 |
| 2 | 榛名林間学園指定管理業務にかかる事業報告の概要 | 【資料2】・・・P. 6 |
| 3 | 教育科学館指定管理業務にかかる事業報告の概要 | 【資料3】・・・P. 9 |
| 4 | グリーンカレッジホール指定管理業務にかかる
事業報告の概要 | 【資料4】・・・P. 14 |
| 5 | 郷土芸能伝承館指定管理業務にかかる事業報告の概要 | 【資料5】・・・P. 21 |

令和 6 年度八ヶ岳荘指定管理業務にかかる事業報告の概要

生涯学習課

1 施設利用状況

令和 6 年度利用者数 延 19,064 人

区分	区立中学校 移動教室等	青健事業	行政利用	一般	キャンプ 施設	アウトドア キッチン	合計
令和 6 年度	6,209 人	1,639 人	10 人	6,788 人	670 人	3,748 人	19,064 人
令和 5 年度	6,336 人	1,366 人	11 人	6,275 人	569 人	3,043 人	17,600 人
前年度比 (増減数)	97.9% (127 人減)	119.9% (273 人増)	90.9% (1 人減)	108.1% (513 人増)	117.7% (101 人増)	123.1% (705 人増)	108.3% (1,464 人増)

令和 6 年度の総利用者数は延べ 19,064 人となり、前年度から 1464 人増（前年度比 108.3%）となった。

令和 6 年度は、利用者が概ね増加傾向にあり、特にアウトドアキッチンは、メニューの増加や青健事業の参加者の増加の影響により、昨年度から 2 割以上増加している。

2 管理運営業務実施状況

（1）施設の管理運営

受付業務、食事提供、衛生管理など、運営業務全般において事業計画に基づき適正に運営を行っていた。受付業務では、利用者アンケートにおいて「スタッフの対応の親切さ」「スタッフの説明のわかりやすさ」の満足度が 9 割を超えており、親切・丁寧な接客に努めていたと評価できる。

食事提供・衛生業務については、食品衛生管理マニュアルに基づいた衛生管理や外部衛生検査に努めている。食事については、メニュー内容の見直しなど、満足度向上に努めているが、「食事内容」の満足度が 86%と昨年度より低下傾向にあり、引き続き改善を続ける必要がある。

食品に関する事故の防止については、食物アレルギー対応マニュアルの再確認や、職員研修を通じて周知等、徹底した対策を講じており、食品に関する事故は 0 件であった。

（2）施設の維持管理

建物維持管理、備品管理、清掃・環境衛生管理・植栽等の維持管理、設備保安業務については、法定点検、日常点検を適切に実施し、いつでも問題なく稼働できるよう努めた。また、スタッフの指導・育成についても、計画的に研修等を行い、関係法令や個人情報の保護取扱規準等の順守など、安全で安定した施設運営に取り組んだ。

施設・設備の修繕工事は、必要性のある修繕を精査し、計画書の範囲内で行われ

ていた。その他、消防設備保守点検や建築設備定期点検などの日常点検で異常の発見に努めるとともに、設備の保全に必要な措置を積極的に提案するなど、全体を通して、良好な維持管理がされていた。

3 利用者サービスの向上

(1) 利便性の提供

利用者がより快適に過ごせるよう、一般棟全室に扇風機を設置するなど、アンケートを参考に可能な範囲でサービス向上に努めている。

運営の様々な部分に指定管理事業者の強みであるアウトドアノウハウを活かした取り組みを行っており、移動教室や青健キャンプでは希望する団体に「ドラム缶ピザ」や「鹿革のキーホルダー作り」などのアクティビティを実施し好評を得た。

(2) アンケートの実施

利用者アンケートを実施し、利用者からの意見・要望等に対して、対応方法を検討し、改善に取り組んだ。

4 管理運営経費の収支状況

《収入》

項 目	予算額	決算額
委託料	円	円
施設使用料	円	円
食事料金	円	円
返還金	円	円
合 計	円	円

《支出》

項 目	予算額	決算額
人件費	円	円
食材費	円	円
維持管理費	円	円
修繕・工事費	円	円
大浴場換気扇設置改修	円	円
火災通報装置電源改修	円	円
本社経費	円	円
合 計	円	円

《差引》

項 目	予算額	決算額
差引（利益）	円	円

（1）収入

収入については、予算額に対し決算額は、円減の％であった。施設使用料、食事料金ともに昨年度の実績（施設使用料円、食事料円）を上回ったものの、食事料金は予算額に対し円減の％であった。

修繕・工事費の余剰金（円）及び火災通報装置電源改修の余剰金（円）と、光熱水費のうち補助金相当額（円）の合計円が区に返還された。

（2）支出

支出については、予算額に対し決算額は、円減の％であった。利用者数増に伴い、寝具の借り上げ料やクリーニング料のコストが増大し、決算額が予算額を大きく超過（借り上げ料円超過、クリーニング料円超過）

した。また、食材費が昨年度と比べて[]円増加（昨年度比[]%）となるなど、難しい運営が続いたが、経費削減及び適切な管理運営により、[]円の利益を確保することができた。

5 自主事業の実施状況

一般宿泊者を対象にアウトドアクッキング、森の観察、焚火体験などの自然を体験するイベントを延べ9回実施した。その他、親子キャンプや親子スキーなどの宿泊型イベントを計4回実施した。体験イベント・宿泊型イベントともに、参加者からは好評を得ている。イベント以外にも、各種レンタルや物販を、計画どおり年間を通じて実施した。

6 所管課の評価等

（1）評価

施設の維持管理については、保守点検や清掃、個人情報などの適切な管理を含む通常の受付業務等全般において、年度協定どおり適切に行われている。

利用者の意見・要望等については対応を検討し改善に努めている。一般利用者アンケート調査の結果では、施設全体の満足度 94%、食事内容の満足度 86%、職員対応の満足度 93%と良好な評価を得ている。なお、アンケート回答者の 99%が「また利用したいと思う」と回答している。

移動教室・青健キャンプのアンケートでも、施設全体の満足度で良好な評価（移動教室 86%、青健キャンプ 96%）を得ている。

利用者への丁寧な対応や衛生面の徹底など、利用者が快適に施設を利用できるような施設づくりが、高い満足度につながっていると評価できる。

（2）今後の課題等

利用者アンケートでの満足度は全体として概ね好評を得ているものの、食事や備品に対する満足度が低い傾向にあり、利用者からも要望が寄せられているため、対策を検討し、改善に取り組んでいく必要がある。

また、利用者アンケートによれば、昨年度より八ヶ岳荘を初めて利用した方の割合が増加（令和6年度 40%、昨年度 31%）しており、八ヶ岳荘の利用者増に向け、八ヶ岳荘の魅力を高め、利用者にまた利用したいと思ってもらうことが重要である。その点で、指定管理者の持つアウトドアのノウハウを活用した、野外調理メニューやアクティビティの開発は、自然豊かな八ヶ岳荘の特徴と合致しており、独自性のある魅力となっている。今後もアウトドアを中心とした事業（アクティビティを含む）を展開し、八ヶ岳荘の魅力を向上させていく必要がある。

青健事業について、榛名林間学園の閉鎖に伴い、令和7年度以降八ヶ岳荘での青健事業実施団体が増加する見込みだが、令和6年度に引き続き所管部署と丁寧調整し、安全性や満足度を損なうことがないよう、青健事業の実施に取り組んでいく。

令和 6 年度榛名林間学園指定管理業務にかかる事業報告の概要

生涯学習課

1 施設利用状況

令和 6 年度利用者数 延 7,362 人 前年比 107.1%
 うち有料利用者数 2,091 人 前年比 119.8%

(延数)	区立小学校 移動教室	青健事業	社会教育団体 (少年団体等)	一 般	合 計
令和 6 年度	4,498 人	761 人	800 人	1,303 人	7,362 人
令和 5 年度	4,374 人	678 人	804 人	1,012 人	6,868 人
前年比 (増減数)	102.8% (124 人増)	112.2% (83 人増)	99.5% (4 人減)	128.7% (291 人増)	107.1% (494 人増)

総利用者数については、令和 5 年度と比べ 494 人増となり、前年比 107.1%であった。増加の要因としては、青健事業での利用人数の増加や施設閉鎖に伴う一般利用の駆け込み需要の増加が挙げられる。

2 管理運営業務実施状況

(1) 施設の管理運営

榛名林間学園については、丁寧な清掃による清潔な施設維持や、食事提供における提供時間の工夫（利用者が温かい状態で食べられる）、丁寧な事前打ち合わせや当日の利用者への親切な対応など、長い運営経験で蓄積されたノウハウを活かした適正な管理運営が事業計画どおり実施されている。

(2) 施設の維持管理

施設の維持管理について、施設の内外ともに設備保守点検や清掃、通常の受付業務等全般において、適切に行われた。故障・不具合が発生した場合は、速やかに対応策を含めた報告書が提出され、緊急性や重要度を考慮しつつ適切に維持管理されていた。

施設内外は日常の見回り、点検時に危険箇所・破損等を調べており、簡易な補修は職員が行っている。不具合については、施設の安全・円滑な管理運営に関わるかを精査し、予算をもとに優先順位をつけて修繕を進めている。

【令和 6 年度の主な修繕】

照明設備修繕・屋根修繕・暖房設備修繕など、計 4 件

3 利用者サービスの向上

(1) 利便性向上事業

Wi-Fi 接続サービス・榛名湖バス停までの送迎・施設周辺状況の提供・食堂での飲料提供・キャンプファイヤー用の薪販売等による利便性の向上事業を行っている。

利用受付時には、食物アレルギーに関する事前確認を含め、寒冷な施設環境や周辺状況について細かな説明を行い、利用者が安心・安全な利用ができるよう配慮していた。冬季利用者に対しては、到着前に部屋を暖める、廊下にストーブを設置するなどの対応を行い、寒冷な施設内で快適な時間を過ごせるよう配慮したサービスを行った。

また、施設内にはエレベーターがないため、特に車いす等障がいのある利用者や高齢者に対しては、車を横付けできる入口への案内や館内での移動が行いやすい部屋を優先して割り当てる等、バリアフリー未対応の施設内で利用者が快適に過ごせるよう意識した細やかな対応が行われている。

(2) アンケートの実施

利用者アンケートの調査では、施設満足度 95.3%、食事満足度 96.7%、職員対応満足度 98.0%と非常に高い評価を得ている。なお、アンケートにて寄せられた利用者の意見・要望には極力応えられるよう改善に努めている。

4 管理運営経費の収支状況

《収入》

項 目	予算額		決算額	
委託料		円		円
施設利用料		円		円
食事売上		円		円
合 計		円		円

《支出》

項 目	予算額		決算額	
人件費		円		円
食材購入費		円		円
その他管理運営経費		円		円
修繕・工事費		円		円
本社経費		円		円
合 計		円		円

《差引》

項 目	予算額	決算額
差引（利益）	円	円

(1) 収入

収入合計については、予算額に対し決算額が 円増の %であった。項目別の予算額に対する決算額の割合では、施設利用料 %、食事売上 %となっている。

(2) 支出

支出合計については、予算額に対し決算額が 円増の %であった。

5 自主事業の実施状況

事業計画に基づき2つの事業やオードブル・食材（バーベキューセット）の提供、自動販売機による飲料販売等を実施した。

自主事業への参加者からのアンケート調査でも、食事や体験の楽しさ・職員の対応など、全ての事業で高い評価を得られている。

6 所管課の評価等

(1) 評価

施設の維持管理について、施設の内外ともに設備保守点検や清掃・通常の受付業務等全般において、計画書のとおり適切に行われた。工事・修繕についても緊急性や重要度を考慮しつつ迅速に対応している。

運営全般の評価としては、老朽化した設備を、これまでの長い運営経験で蓄積したノウハウを活かした工夫により、利用者への満足度を高める運営が行われており、利用者アンケート結果でも、施設満足度 95.3%、食事満足度 96.7%、職員対応満足度 98.0%と非常に高い評価となっている。

(2) 今後の課題

本年度をもって当施設での指定管理業務を終了とする。令和7年4月10日付「板橋区立榛名林間学園の譲渡に向けた協議開始に関する覚書」を板橋区と高崎市で締結したため、今後は現在の老朽化している設備を適切に保全し、施設の譲渡にむけ、関係各所との情報共有や協議を進めていく。

令和 6 年度教育科学館指定管理業務にかかる事業報告の概要

生涯学習課

1 施設利用状況

区 分	入館者数	プラネタリウム観覧者数
令和 6 年度	208,093 人	55,961 人（うち有料投影 36,530 人）
令和 5 年度	219,688 人	51,122 人（うち有料投影 36,003 人）
前年比 （増減数）	94.7% （11,595 人減）	109.4% （4,839 人増、うち有料投影 527 人増）

令和 6 年度の入館者数は、前年に比べ 11,595 人の減（前年度比 94.7%）となった。プラネタリウムの観覧者数については、前年に比べ 4,839 人の増（前年度比 109.4%）という状況である。

2 管理運営業務実施状況

（1）事業運営

令和 6 年度の事業運営全般については、事業計画に基づき下記①～⑥のとおり実施した。

【主な事業実績】

①展示

名称	内容・対象など	実績（参加者数）
常設展示	科学の原理原則に基づいた展示	常設（開館日全日） 観覧料無料
企画展	学校の長期休暇期間等を実施する、特定のテーマに関する展示。	年 4 回実施 延べ 71,582 人参加

※主な企画展

春季「悪の科学展／正義の科学」期間 4 月 1 日～5 月 6 日

夏季「教育科学館遊園地化計画」期間 7 月 20 日～9 月 1 日

②科学

名称	内容・対象など	実績（参加者数）
科学教室（初級・中級・上級）	工作、実験、ワークショップ、講座等	年 225 回実施 延べ 4047 人参加
第 12 回いたばし自由研究作品展	区内の小中学生を対象に、夏休みの自由研究作品作りをきっかけに募集し、優秀作品の表彰を行う。	161 作品応募
ラボ事業	教育科学館スタッフの研究領域を公開・レクチャーし、探究活動を促進する。	年 145 回実施 延べ 8578 名参加

サイエンスショー	多様な科学に関する実験ショー、トークショーおよびワークショップ	年 54 回実施 延べ 2,984 人参加
----------	---------------------------------	--------------------------

③プラネタリウムドーム

名称	内容・対象など	実績（参加者数）
レギュラー投影	ターゲット層に合わせた星空解説および番組投影	44,587 人
イベント型プラネタリウムドーム事業	プラネタリウムドーム内を活用した、特定のテーマに沿った投影や各種イベント	4,631 人
各種団体	移動教室および幼稚園・保育園等に向けた投影	区立小学校 4 年生ほか 2,142 人

④プログラミング

名称	内容・対象など	実績（参加者数）
プログラミング教室（初級・中級・上級）	プログラミング教材「MESH」「KOOV」を使用した講座、ワークショップ	年間 146 回実施 延べ 1,312 人参加
イベント型プログラミング教室	ファーストレゴリーグに参加することを前提とした連続講座	参加者 10 名 全 18 回講座

⑤連携事業

名称	内容・対象など	実績（参加者数）
移動教室	区立小学校 52 校の 4 年生および区立中学校の希望校が対象	4,034 人 中学校無し
出張ワークショップ	希望する区立保育園・小・中学校で各種学習事業（職場体験等）	1,285 人
板橋 6 大学連携事業	区内 6 大学と連携したワークショップ	131 人
教育科学館サポーター事業	地域団体・住民の探究活動をサポートし、各種イベントを実施	673 名

⑥ その他（広報/ブランド戦略）

- ・地域イベントへの参加（常盤台桜まつり・板橋区民まつり等）
- ・主管課との連携事業（いたばしフレンドセンタープログラミング、いたばし未来子ども大学、いたばし防災＋フェア 2024 等）

(2) 施設の維持管理

建物維持管理、備品管理、清掃・環境衛生管理等の維持管理については、法定点検、日常点検を適切に実施し、いつでも問題なく稼働できるよう努めている。特に多くの方が利用する地下展示については、公開前の点検や動作確認、月 2 回の技術者による点検、修繕など、

安全管理に留意した。更に、スタッフの指導・育成についても、計画的に研修等を行い、関係法令や個人情報の保護取扱規準等の順守など、安全で安定した施設運営に取り組んだ。

施設・設備の修繕工事は、必要性のある修繕か精査し、適切に行われていた。その他、各種の保守点検や定期点検だけでなく、日常点検についても丁寧に確認し、異常の早期発見に努めるとともに、設備の保全に必要な措置を積極的に提案するなど、全体を通して、良好な維持管理がされていた。

3 利用者サービスの向上

(1) 広報

広報いたばし、科学館ニュースといった従来の広報手段に加えて、SNS（フェイスブック、ツイッター、LINE）を活用し、各年代に適した広報活動を行った。

事業数自体を増加させるとともに、企画展や各種のイベント等を積極的にプレスリリースし、認知度の向上を図った。

結果、サービス水準として設定している、ホームページの閲覧件数、ツイッターフォロワー数、マスコミ・情報誌の登場回数に関し、全て目標値を達成した。

(2) アンケートの実施

プラネタリウム投影と科学事業において利用者アンケートを実施した。プラネタリウムは「大いに満足」「満足」の割合が 95.0%、科学事業は 96.0%となるなど、高い評価を得ている。

4 管理運営経費の収支状況

【収入】

項 目	予算額	決算額
委託料	円	円
プラネタリウム観覧料	円	円
施設貸出使用料	円	円
各種教室参加費等	円	円
イベント型プラネタリウムドーム事業	円	円
合 計	円	円

【支出】

項 目	予算額	決算額
人件費	円	円
維持管理経費	円	円
事業運営費	円	円
修繕・工事費	円	円

本社経費		円		円
合 計		円		円

【差引】

項 目	予算額	決算額
差引（営業利益）	円	円

(1) 収入

令和6年度の収入について、予算額に対する決算額は、円増の％と計画通りの収入となった。内訳としては、人気キャラクターのプラネタリウム番組投影などにより、予算額に対する決算額の割合が、プラネタリウム観覧料％と計画値を大きく上回り、各種教室参加費等についても、積極的な事業展開により計画を超える額を確保することができた。

(2) 支出

支出については、予算額に対し決算額は、円増の％であった。内訳としては、予算額に対する決算額の割合が、維持管理費％、事業運営費％と、適切な経費節減や管理運営に努める一方、各種事業を積極的に開催し、収入増につなげることができた。

最終的な営業利益は、予算額に対し決算額は円減の％となった。

5 自主事業の実施状況

指定管理者の科学教育ノウハウを活かし、各種団体と連携したワークショップ等の事業実施や、カプセルトイの販売を行った。

6 所管課の評価等

(1) 評価

「人を展示する科学館」という事業コンセプトのもと、3ヵ年の運営の中で、各年度で具体的な到達目標とそれに沿った事業実施を推進している点が非常に評価できる。特に令和6年度は、科学館の外に目を向け、産業見本市でのワークショップ、板橋6大学との連携事業など多方面での教育機会の創出と地域連携を図ることができた。

設備の維持管理についても、各種設備点検を行い、耐用年数を超過した部品の交換や、今後の保全方法に関しての提案ができています。また、設備に関して不具合が発生した際は、メーカーと原因の究明や対応方法について丁寧に確認し、適切な復旧計画を立てるなど、非常に効果的な施設管理が行われている。

(2) 今後の課題

館内のオリジナリティある事業実施と館外への積極的な広報活動・地域連携を行っているが、入館者数だけで見ると、昨年度より減少する形となっている。この点については事業

者も認識しており、令和7年度は、これまで来館するきっかけがなかった方々に向けた市民主体型のイベント等を企画実施し、来館者増につなげていく。

施設の経年劣化については継続的な課題となっており、特にプラネタリウムは修理に必要な部品の生産も終了しており、稼働できない場合、運営に大きな影響が出ることから、速やかに更新を検討する必要がある。また、地下展示室についても、利用者から要望が寄せられていることから、計画的な設備更新について、関係部署と協議を進めていく必要がある。

令和 6 年度グリーンカレッジホール指定管理業務にかかる事業報告の概要

生涯学習課

1 施設利用状況

	利用者数	稼働率
令和 6 年度	72,610 人	46.4%
令和 5 年度	66,666 人	56.4%
前年比 (増減数)	108.9% (5,944 人増)	82.3%

【稼働率内訳】

令和 6 年度 年間稼働率

実働359日

室名	午前	午後	夜間	稼働可能件数	利用件数	稼働率%	総稼働可能件数	総利用件数	総稼働率
教室 1A	137	137	75	1909	634	33.2%	2154	879	40.8%
教室 1B	118	102	65						
教室 1合計	255	239	140						
教室 2A	113	201	127	2050	815	39.8%	2154	925	42.9%
教室 2B	105	167	108						
教室 2合計	218	368	235						
教室 3	144	146	133	953	423	44.4%	1077	559	51.9%
ホールA	210	288	153	2154	1159	53.8%	2154	1159	53.8%
ホールB	145	197	166						
ホール合計	355	485	319						
集会室1	158	256	58	1077	472	43.8%	1077	472	43.8%
集会室2	100	280	124	1077	504	46.8%	1077	504	46.8%
計	1230	1774	1009	9220	4013	43.5%	9693	4498	46.4%

令和 6 年度の利用状況は、利用者数 72,610 人・施設稼働率 46.4%となり、前年度の利用者数 66,666 人・施設稼働率 56.4%と比較し、利用者数は前年比 108.9%と増加した。稼働率については、令和 6 年度から教室 1・2 を一般利用者にも開放したことに伴い分母が増加し、稼働率は前年比 82.3%に留まっている。

2 管理運営業務実施状況

(1) 施設の管理運営

令和 6 年度は、指定管理 1 年目（初年度）である。利用者アンケートにおいて、「サービス全般的な満足度」及び「職員・スタッフの対応」について、「とても満足」「満足」と回答した割合はそれぞれ 79%、83%であった。また、

当該指定管理者が力を入れている清掃面では、78%の利用者が満足していることから、清潔かつ安定した施設管理が行われている。

(2) 施設の維持管理

施設・設備の保守点検業務については、再委託業務を含め年度協定、仕様書及び事業計画書のとおり適切に実施した。設備の不具合等による修繕については、施設への影響を考慮しながら合計9件の修繕を実施した。

【主な修繕工事】

- ・プロジェクター映像ケーブル交換（4階ホール）
- ・空調設備不具合修繕（4階ホール）
- ・床面剥離修繕（3・4階）

3 事業実施状況

(1) 板橋グリーンカレッジ運営補助業務

〈定員・講座数一覧〉

教科（コース）	定員		講座数	
	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度
教養課程（令和5年度） 1年生（令和6年度）※	300人	160人	18回	18回
専門課程 健康福祉	80人	80人	18回	18回
専門課程 文化文学	80人	80人	18回	18回
専門課程 社会生活	80人	80人	18回	18回
大学院 健康福祉	30人	30人	13回	13回
大学院 文化文学	30人	30人	13回	13回
大学院 社会生活	30人	30人	13回	13回

※令和6年度から年齢制限を撤廃し、全世代を対象に開校している。また、科目選択制を導入するとともにコースの再編を行い、教養課程を1年生に改めた。

〈板橋グリーンカレッジ参加者数実績〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
令和6年度	150人	1,281人	1,258人	1,122人	687人	762人
令和5年度	152人	1,319人	742人	1,156人	363人	672人
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和6年度	1,050人	767人	1,010人	654人	960人	271人
令和5年度	837人	1,003人	870人	788人	723人	213人

【合計】

令和6年度：9,972人（前年比113% 1,134人増）

令和5年度：8,838人

板橋グリーンカレッジ事業の補助業務については、講座レジュメの印刷、講座当日の受付・案内・資料配布、教室内设営・片付け等、滞りなく実施した。

(2) 提案事業

指定管理者からの提案により実施する「提案事業」についての前年度との比較は以下のとおりである。

	提案事業実施回数	参加人数
令和6年度	200回	8,216人
令和5年度	211回	6,802人
前年比 (増減数)	94.8% (11回減)	120.8% (1,414人増)

令和5年度から、事業の多世代化を促進するため、事業の参加要件であった「50歳以上」を廃止したことで、以前から実施している事業に50歳以下の参加者が増加している。

また、多世代化を促進する事業体系である「夏休み子ども塾」を展開し、小学生を対象とした「プログラミング」「ウクレレ」等の10講座を実施するとともに、同じく小学生を対象とした、「キッズイングリッシュ」「サイエンスアートLABO」「チアダンス」等の講座を開催した。その他、参加者から好評を得ている「地域交流コンサート」を8回実施するなど、合計200回の事業を実施し、8,216人が参加したほか、別途オンライン講座も38回実施した。

令和6年度の提案事業の実施結果については次ページのとおりである。

令和6年度 提案事業一覧表

資料 4

事業名	実施計画	予定 回数	実施結果	実施 回数	参加 人数	オンライン講座	オンライン講座 数
GCH 地域交流 コンサート、演劇	4月:Live JAZZ&POPmusic! 5月:ミュージカル 劇団ハレトケ 6月:サマーコンサート プリモアンサンブル東京 10月:秋の落語 12月:ビッグバンドコンサート 1月:マリンバデュオコンサート 2月:ハーブデュオコンサート 3月:地域コンサート	5	4月:ジャズコンサート 5月:ミュージカル 6月:サマーコンサート(プリモアンサンブル東京) 10月:落語 12月:ビッグバンドコンサート 1月:マリンバデュオコンサート 2月:ハーブデュオコンサート 3月:地域交流コンサート	8	1103	Instagramにアップ	8
グリーンカレッジ受講者 プレゼンツ事業・夏休みこども塾・キッズイングリッシュ	8月:夏休み こども塾(月2回/14講座) 7月:キッズイングリッシュ(7月1回・8月1回)	16	7・8月:夏休みグリーンカレッジ塾(16講座)、キッズイングリッシュ(1回)	3	180	キッズイングリッシュ Instagramにアップ	1
GCH 周年記念行事(ホール発表会・作品展)	7月:14周年アニバーサリー発表会・説明会1日・リハーサル4日間 9月:14周年アニバーサリー作品展(3日間)・説明会1日	10	7月:15周年アニバーサリー発表会・説明会1日・リハーサル5日間(大人2・こども3) 9月:15周年アニバーサリー作品展(3日間)・説明会1日	2	3063	Instagramにアップ 発表会は各団体ごとにUP	2
韓国語体験教室 体験教室～全4回～	韓国語・体験教室:4月～6月	4	韓国語・体験教室:10月～11月	4	93	Instagramにアップ	1
ウクレレ教室 基礎コース～全12回～	ウクレレ教室 基礎コース:4月～8月	12	ウクレレ教室 基礎コース:4月～7月	12	291	卒業発表会Instagram	1
水墨画教室 初心者コース～全12回～	水墨画教室 初心者コース:4月～3月	12	水墨画教室 中級コース: 4月～3月	12	135	Instagramにアップ	1
鉛筆画講座 ステップアップコース～全12回～	鉛筆画講座 ステップアップコース:4月～3月	12	鉛筆画講座 ステップアップコース: 4月～3月	12	139	Instagramにアップ	2
実用英会話教室 初心者コース～全10回～	実用英会話教室 初心者コース:4月～7月	10	実用英会話教室 ステップアップコース: 4月～6月	6	188	Instagramにアップ	1
大人が楽しむダンス教室～ディスコクラス～全8回～	大人が楽しむダンス教室～ディスコクラス:5月～7月	8	大人が楽しむダンス教室 ディスコクラス・ラテンクラス:4月～7月	7	240	Instagramにアップ	1
似顔絵教室 初心者コース～全6回～	似顔絵教室 初心者コース:5月～7月	6	4コマ漫画描き方講座:6月～8月	6	30	Instagramにアップ	1
水彩画レベルアップコース～全10回～	水彩画レベルアップコース:6月～3月:10回	10	水彩画レベルアップコース: 6月～3月:10回	10	243	Instagramにアップ	2
フラ教室 初心者コース～全8回～	フラ教室 初心者コース:4月～6月	8	フラ教室 ステップアップコース:9月～12月	8	199	最終日の様子をInstagramにアップ	1
ウクレレ教室 ステップアップコース～全10回～	ウクレレ教室 ステップアップコース:10月～2月	10	ウクレレ教室 ステップアップ コース: 10月～2月	10	319	発表会の様子をInstagramにアップ	1
健康イスヨガ教室～全10回～	健康イスヨガ教室: 4月～8月 健康イスヨガ教室:10月～3月	20	健康イスヨガ教室: 4月～6月 健康イスヨガ教室: 9月～11月 健康イスヨガ教室: 1月～3月	18	407	Instagramにアップ	1
水彩画教室 入門コース～全10回～	水彩画教室 入門コース:11月～3月	10	水彩画教室 入門コース:12月～3月	8	173	Instagramにアップ	2
鉛筆画講座 基礎コース～全10回～	鉛筆画講座 基礎コース:4月～7月	10	鉛筆画講座 基礎コース:11月～3月	10	200	初日最終日の様子をInstagramにアップ	2
フラワーアレンジメント～ガラスの靴編～ ～しめ縄飾り編～	フラワーアレンジメント～母の日のラウンドブーケ編～:4月 ～しめ縄飾り編～12月	2	フラワーアレンジメント ～母の日のラウンドブーケ～:4月 ～しめ縄飾り編～:12月	2	41	Instagramにアップ	2
小粋に踊る盆踊り教室～全8回～	小粋に踊る盆踊り教室:4月～7月	8	小粋に踊る盆踊り教室: 10月～1月	8	166	初日の様子をInstagramにアップ	1
チアダンス体験教室～全6回～ 大人クラス・キッズクラス	チアダンス体験教室:大人クラス・キッズクラス:1月～3月	12	チアダンス体験教室: 大人クラス・キッズクラス: 4～7月・9～11月・1～3月	18	272	Instagramにアップ 1回モニターに動画をアップ	2
初心者向けキッズヒップホップ教室～全6回～	初心者向けキッズヒップホップ教室: 3～6オクラス・7～12オクラス 4～6月	6	初心者向けキッズヒップホップ教室: 3～6オクラス・7～12オクラス 4～6月	6	115		
中国語体験教室～全3回～	中国語体験教室～全3回～	3	中国語体験教室～全3回～	3	41		
生き生き講座5月・7月・9月・11月・1月・3月	生き生き講座5月・7月・9月・11月・1月・3月	6	生き生き講座5月・7月・9月・11月・1月・3月	6	217		1
プログラミング 親子で体験教室6月	プログラミング 親子で体験教室6月	1	プログラミング 親子で体験教室6月	1	16		
羊毛フェルト体験教室	羊毛フェルト体験教室	1	羊毛フェルト体験教室 にやんくりスマツリを作ろう	1	6	Instagramにアップ	1
オカリナ体験教室～全6回～	オカリナ体験教室～全6回～	0	オカリナ体験教室～全6回～	6	72	Instagramにアップ	1
おもしろ美術史講座～全3回～	おもしろ美術史講座～全3回～	3	おもしろ美術史講座～全3回～	3	72		
大人の折り紙体験教室～全4回～	大人の折り紙体験教室～全4回～	0	大人の折り紙体験教室～全4回～	4	75	Instagramにアップ	1
			仲間と楽しむダンス体験教室	6	120	Instagramにアップ	1
デジカメ講座初心者コース	デジカメ講座初心者コース	4	デジカメ初心者コース	0	0		
デジカメ講座レベルアップコース	デジカメ講座レベルアップコース	4	デジカメ講座レベルアップコース	0	0		
合計		209		200	8216		38

4 利用者サービスの向上

(1) 広報

ホームページに掲載する情報コンテンツの増加や、動画・SNS配信を拡大し、若年層への訴求を強化したほか、キッズ向け講座の増加に伴い、近隣の保育園や図書館の協力を得てポスター等を掲示した。

(2) アンケートの実施

利用者アンケートについては、通常の施設利用者アンケートと、提案事業の参加者に対するアンケートの二種類を実施している。利用者アンケート結果について、職員・スタッフの対応は「とても満足」「満足」の割合が83.0%、施設のサービス全般の満足度は「とても満足」「満足」の割合が79.0%となっている。なお、提案事業参加者アンケートについては、96.3%が「満足」と回答している。

施設利用、提案事業ともに、約8割以上の方が、高く評価しており、利用者のニーズに適切に対応できている。

5 管理運営経費の収支状況

【収入】

項目	予算額	決算額
委託料	円	円
施設利用料等収入	円	円
合計	円	円

【支出】

項目	予算額	決算額
人件費	円	円
事業運営費	円	円
施設・設備維持管理費	円	円
事務費	円	円
本社経費	円	円
合計	円	円

【差引】

項目	予算額	決算額
差引（利益）	円	円

(1) 収入

収入については、予算額に対する決算額は、■■■■円増の■■%となった。各種事業を積極的に展開し、施設利用料及び利用参加費の増加により、当初の計画を上回る収入を確保することができた。

施設利用収入の内訳については、予算額と比較して提案事業に伴う収入が■■%、一般貸出に伴う収入が■■%となっている。

委託料（指定管理料）については、補正予算により、3階系統室外機の更新経費が措置された。

なお、年度協定に定める清算項目であるキャッシュレス決済の手数料について、余剰が発生したことから、■■■■円を区に返還した。

(2) 支出

支出については、予算額に対する決算額は、■■■■円減の■■%となった。差異については、職員の年度途中退職による人件費の減少が影響しており、当初の想定よりも低い執行状況となっている。

6 所管課の評価

(1) 評価

施設の維持管理全般について事業計画に基づき適切な運営が行われている。

提案事業についても、当課の目的である多世代に向けた学びの機会の拡大を理解し、「夏休み子ども塾」や年齢制限の廃止など、積極的に取り組み、参加者数は昨年度より1,414人増（昨年度比120.8%）と大幅に増加している。

利用者アンケート調査による施設及び事業への満足度も、8割以上の方が「とても満足」、「満足」という評価となっているだけでなく、利用者アンケートの要望を受け、新規講座を開講する等、利用者ニーズにも積極的に対応している。

その他、利用者からの苦情やトラブルも報告されていないことから、適切な施設運営が行われている。

(2) 今後の課題等

グリーンカレッジホールの運営については、令和4年度より生涯学習課の所管施設となり、運営方針も高齢者だけでなく多世代に向けた学びの推進に広がった。

運営方針を踏まえた提案事業の実施により、利用者の満足度の高い取組

みを展開することができている。

施設管理についても、地政学的な要因による物価高騰にも適切に対応し、高い利用者満足度を維持することができている。

令和 6 年度より新たな指定管理期間となり、グリーンカレッジ事業の運営に関する多くの事務が指定管理者の業務となったが、民間の活力を活かし、利用者にとってより満足度の高いグリーンカレッジ事業を展開できている。

今後は、これまで以上に学びの多世代化を促進し、世代や属性の違いを超えた居場所・交流の場となるよう、実施する事業だけでなく広報活動等への工夫が求められる。

令和 6 年度郷土芸能伝承館指定管理業務にかかる事業報告の概要

生涯学習課

1 施設利用状況

【令和 6 年度利用者数】

単位：(人)

(延人数)	集会室 (1F)	芸能練習室 (B1F)	合計
令和 6 年度	2,736	8,613	11,349
令和 5 年度	3,018	7,676	10,694
前年度比 (増減数)	90.6% (282 人減)	112.2% (937 人増)	106.1% (655 人増)

【令和 6 年度利用件数・稼働率】

単位：(件)

(延件数)	集会室 (1F)	芸能練習室 (B1F)	合計	稼働率
令和 6 年度	187	572	759	36.6%
令和 5 年度	231	525	756	42.4%
前年度比 (増減数)	80.9% (44 件減)	108.9% (47 件増)	100.3% (3 件増)	5.8 PT 減

※稼働日数 令和 6 年度：集会室 347 日、練習室 347 日
(令和 5 年度：集会室 315 日、練習室 304 日)

令和 6 年度の利用状況について、利用者数・件数ともに前年度より増加し、655 人増・3 件増となった。地域行事がほぼ従前どおり実施されたことで、利用団体の活動機会が増加したことなどが要因と思われる。

また、稼働日数に対する施設利用率は、前年度より減少し、5.8 ポイント減となった。内訳として、芸能練習室の利用件数が増加している一方で、集会室の利用件数は減少している。要因として、これまで集会室を定期的に利用していた 3 団体が、高齢化や会員数減少を理由に活動を休止したことが挙げられる。

2 管理運営業務実施状況

(1) 施設の管理運営

令和 6 年度は、指定期間 5 年間の最終年である 5 年目にあたる。管理業務全般については、基本協定及び年度協定のとおり実施され、施設貸出、設備の保守・修理、企画・運営協議会等各種会議への出席等、適切に施設の管理運営が行われている。指定管理者本社と現地施設、教育委員会との間において緊密な連携を取り、適切な施設管理・運営に努めている。

(2) 施設の維持管理

建築物環境維持管理、清掃、植栽・樹木等の維持管理、保安・警備業務については、業務水準書のとおり法定点検、日常点検を実施している。これら全般については、建築基準法、消防法、フロン排出抑制法等の関係法令や個人情報保護に関する取扱基準等を順守し管理を行っている。

また、令和6年度の修繕・工事については、下記の5件を実施し、工事経費は合計 〇〇〇〇〇 円となった。

【令和6年度修繕・工事实績】

- ①「Wi-Fi 環境構築工事」(〇〇〇〇〇 円)
- ②「備品太鼓修繕」(〇〇〇〇〇 円)
- ③「誘導灯改修その他工事」(〇〇〇〇〇 円)
- ④「自動扉装置機器修理」(〇〇〇〇〇 円 ※保守契約に含む)
- ⑤「地下1階照明器具改修その他工事」(〇〇〇〇〇 円)

3 利用者サービスの向上

(1) 利便性の向上

利用予約の受付について、令和2年5月から導入した郵送受付を引き続き実施している。利用者からは、予約にあたり施設へ足を運ぶ必要がなくなり利便性が向上したとして好評を得ている。

また、高齢者や障がい者の施設利用にあたり、職員による積極的な声かけや動線確保を行っているほか、車椅子用の可動式スロープを導入するなど、ノーマライゼーションに配慮した運営を行っている。

(2) アンケートの実施

利用者アンケートを実施し、利用者の意見・要望に迅速な対応を行っている。令和6年度利用者アンケートでは、「館に対する満足度」の項目で81%の評価となった。特に、職員の接遇、空調設備や令和6年度に新たに設置したWi-Fi 設備などの利用環境について評価する意見が多数あり、高い利用者満足度を維持している。

一方、施設に対する要望として、太鼓の修繕に関する意見、令和7年度からの利用料金の値上げに関する意見が見られた。なお、太鼓の修繕については、修繕計画に基づき令和4年度から順次修繕を行っている。

(3) 施設のPR

館独自のホームページ及びSNS(X(旧Twitter)及びInstagram)を運用し、予約状況や自主事業の開催情報など積極的な情報発信を行っている。令和6年度の情報発信実績は130件(令和5年度:134件)となり、サービス水準に定

める目標値 90 件を大きく上回った。

4 管理運営経費の収支状況

【収入】

項 目	予算額	決算額
指定管理委託料	円	円
利用料金収入	円	円
光熱水費返還金	円	円
合 計	円	円

【支出】

項 目	予算額	決算額
人件費	円	円
施設管理費	円	円
修繕・工事費	円	円
太鼓修繕費	円	円
Wi-Fi 初期設定費	円	円
本部経費	円	円
合 計	円	円

【差引】

項 目	予算額	決算額
差引（利益）	円	円

（１）収入

予算額に対する決算額は、円減の％であった。

利用料金収入について、利用団体の高齢化等に伴い施設利用率が伸び悩んだことにより、予算額に対する決算額の割合が％となった。また、指定管理委託料については、指定管理者との協議により、清算項目（修繕・工事費、太鼓修繕費、Wi-Fi 初期設定費）の余剰金円が区に返還された。同様に、光熱水費の補助金値引き相当額円が区に返還された。

（２）支出

予算額に対する決算額は、円減の％であった。

人件費・物価上昇に伴うコスト増加があったものの、事務経費の精査など指定管理者の企業努力により予算額内に収めることができた。

5 自主事業の実施状況

施設の設置目的の範囲内で、指定管理者の自己資金と創意工夫による自主事業を実施している。普段施設を利用しない地域住民が施設へ足を運ぶ機会となり、

施設や郷土芸能の周知、利用者層の拡大などに貢献している。

令和6年度は、14回の自主事業を実施し、年間参加人数は182人となった。参加者アンケートにおいて、いずれも高い満足度評価を得ている。

【令和6年度自主事業】

No.	開催日	時 間	内 容	参加費	参加人数	満足度 (※)
1	4月29日	14:00～15:00	アフタヌーンコンサート①	1,000円	23人	95%
2	5月25日	13:00～15:00	ねじって作るバラの折り紙	1,500円	13人	100%
3	6月29日	14:00～15:00	郷土芸能講座 ～旧粕谷家住宅	100円	14人	92%
4	7月20日	13:00～14:00	海のハーバリウムを作ろう	1,200円	11人	100%
5	8月17日	13:00～14:00	からくり箱の謎に挑戦！	2,500円	10人	100%
6	9月7日	①11:00～12:00 ②13:00～14:00	はじめての和楽器体験会	無料	21人	96%
7	10月12日	13:00～15:00	現代折り紙を楽しもう	1,800円	15人	91%
8	11月24日	14:00～15:30	郷土芸能上映会	無料	9人	100%
9	12月7日	14:00～15:00	アフタヌーンコンサート②	1,000円	15人	100%
10	1月13日	①10:30～12:00 ②13:00～14:30 ③15:00～16:30	水引の箸置き作り	1,500円	18人	100%
11	1月18日	14:00～15:30	郷土芸能上映会	無料	7人	100%
12	2月8日	13:00～15:00	伝承折り紙を楽しもう	1,800円	10人	100%
13	2月24日	13:00～14:00	まゆ玉でうさぎのお雛様を作ろう	750円	11人	100%
14	3月30日	11:00～12:00	千日紅のリース作り	700円	5人	100%

(※) 参加者アンケートの「大変満足」・「満足」回答割合（未回答除く）

6 所管課の評価等

(1) 評価

施設の維持管理について、業務要求水準書に基づき、適切に受付・清掃・点検等の管理運営が行われており、収支状況においても適正な執行が行われている。設備等の故障については、指定管理者のノウハウを活かした自社修繕チームによる迅速な修繕対応を行っており、利用者が安心・安全に利用できる運営が行われている点は高く評価できる。

また、郷土芸能や伝統文化に関する自主事業を積極的に展開しており、参加者

アンケートでは非常に高い評価となっている。普段施設を利用する機会のない区民に対するアプローチとして、施設や郷土芸能の認知度向上に寄与しており、高く評価できる。

（２）今後の課題

築３７年が経過し、施設設備の老朽化は避けられない課題である。指定管理者による迅速な修繕対応と、区による計画的な施設改修により施設保全に努め、今後も利用者が安心・安全・快適に利用できる環境を整備・維持していく。

コロナ禍以降、高齢化や会員減少等により活動を休止する利用団体が増加しており、利用者数の増加は継続的な課題である。施設利用率の向上はもとより、「郷土芸能の保存と伝承」という施設の設置目的を果たす上でも、近隣大学との連携や後継者育成事業の展開など、新規利用者の獲得に向けた取り組みを模索していく必要がある。

また、旧粕谷家住宅との連携をはじめとする徳丸地域の文化資源の活用については、令和７年度より、旧粕谷家住宅における指定事業の実施や自主事業での活用などを新たに実施し、引き続き地域文化の振興を図っていく。